

## 令和6年度沖縄域外競争力強化促進事業費補助金の成果概要

事業実施主体	株式会社沖坤
プロジェクト名	潜在的社会課題の解決 生コンスラッジの再生資源化生産体制の構築
事業内容	<p>コンクリート製品製造業界や生コン業界では、ミキサーヤアジテータ車からの洗い水などに含まれる固形分（以下、生コンスラッジという）には有害物質が含まれており、その処分・活用方法が課題となっている。</p> <p>本事業は、生コンスラッジの無害化・中性化処理を可能とした生産技術を活かし、生コンスラッジを再生資源材として大量かつ効率的に生産するために必要な生産設備を導入し、かつ、用途に合わせた製品を生産するための処理工程（粒度調整及び配合等）の生産設備を整備した。</p>
今後の計画	<p>令和7年度：県内 150 t</p> <p>令和8年度：県内 300 t</p> <p>令和9年度：県内 400 t、県外 100 t</p>
最終目標と現状	<p>最終目標） 令和11年度までに、県内 740 t、県外 400 t</p> <p>売上目標 95百万円（県内・県外含む）</p> <p>現状）搬出状況等 再生資源材再生工場を新設（6月完成）、7月から生産稼働。今年度受注見込 130 t（8月現在）。</p>
補助事業の効果	<p>事業内容</p> <p>これまで自社既存の攪拌機及びふるい機を使い、計量も都度人力で行っていたが、生コン投入量によって自動計量で無機系固化材を投入し攪拌できること、受入シートからコンベア、バイブレーティングスクリーン（ふるい機）へと連続的に粒度のふるい分けができることから、大量かつ効率的な処理工程により再生資源材及び再生資源製品の生産が可能となり、これまでの 1 m<sup>3</sup>/日から 6 m<sup>3</sup>/日と大幅な生産能力の向上が図られ、生コンスラッジを再生資源材として広く活用するために必要な生産体制が構築できた。</p>

### 写真・図



ミキシングユニット（投入計量及び攪拌ユニット）



バイブレーティングスクリーンユニット（ふるい機）